

思いやりあふれる風が吹く



ASAHI UNIV.

NO. 29

2014.APRIL

ぶらざ村上

発行日/2014年4月25日 企画編集/広報委員会

● 一期一会	病院長 大橋 宏重	2
● ジェネリック医薬品への変更に際して	薬局長 山添 喜久雄	3
● 保健医療学部看護学科開設	事務部長 臼井 認	3
● 認定施設		3
● 西館新築・既存建物改修工事が完了 (工事の経過を振り返り)	管理課 加藤 祐司	4・5
● 新任紹介		4・5
● 防災訓練の実施	管理課 古泉 尚	6
● 心を癒す院内コンサート	ボランティア支援室 野村 美由紀	6
● 入院患者さんにひざ掛けを	医事一課 浅野 一男	6
● 病院ボランティア「集いの会」を開催	ボランティア支援室長 藪下 勉	6
● シリーズ 健診センター便り⑥	総合健診センター副センター長 出口 富美子	7
● シリーズ 医食同源 NO.14 ~腸内環境整え食~	管理栄養士 高橋 貞子	7
● 診療医ご案内		8

MURAKAMI
MEMORIAL
HOSPITAL



看護学科 2014年4月 誕生

保健医療学部 看護学科

Experience

朝日大学
<http://www.asahi-u.ac.jp/>



一期一会

病院長 大橋 宏重



一期一会とは、「あなたとこうして出会っているこの時間を一生に一度のものと心得て、この時間を大切に思い、今出来る誠意を尽くしたもてなしをしましょう」という内容の、茶道に由来する言葉です。言い換えれば、「これからも出会うことがあるかもしれないが、二度と会うことができないかもしれないという気持ちで人に接しなさい」ということを意味しているのではないのでしょうか。千利休の弟子である山上宗二が自らの著書に、「一期に一度の会」という一文を残しており、自らの茶道の心得として用いたことから、広く使われるようになったとされています。一期一会は井伊直助の著書である「茶湯一会集」にも出てくる言葉です。

医療の領域において、患者さんとの出会いは多くは巡り合わせによります。自らを振り返ってみますと、患者さんとの出会いは、かかりつけの先生から紹介されたとき、救急で来院、搬送されたとき、人づてに評判を聞いて受診されたときなど、多くは偶然の機会によります。患者さんは、自らの生命、健康をこの医療機関に預けてよいか、玄関を入ったときの雰囲気、医療スタッフの対応、医師の診療に対する姿勢、看護師の介助などからたちどころに判断します。患者さんの訴えを傾聴し、丁寧な診察を行い、病状を分かりやすく説明するだけでなく、質問に適切に答えられない場合は調べて再診時にお答えするなどの誠意を尽くした対応が

患者さんに選ばれる医療機関の条件であると思います。したがって、お互いに緊張感を持った出会いとも言えます。

医療の本質は患者さんと医師、看護師などの医療スタッフが互いに力を合せて病を克服することにあると思います。困ったときに何時でも手を差し伸べ、限られた時間のなかで患者さんの診療を丁寧に行い、受けることができる質の高い最高の医療を提供することが私たちの使命と思っています。したがって、私たちの仕事にはゴールはありません。患者さんの訴えを傾聴し、その訴えから予知される病気を診断すべく診察し、適切な治療を行っていくことが病気で悩める人を診ることにつながるのではないのでしょうか。体だけでなく、心の支援も行えるよう努めていきたいと思っています。

当院は、「安全性を配慮した質の高い医療の提供」、「救急医療の充実」、「予防医学の推進」を目標とした医療を展開しています。患者さん、かかりつけ医、救急医療をになう行政からの信頼を得るためにも一期一会の出会いを大切に、真摯に診療していくことが大切だと思います。また、総合健診センターでの予防医学にも専門医を多く配置し、全力で対応しています。当院に対する忌憚のないご意見をいただき、一つ一つ検討、解決していくことが病院の発展につながるものと思います。

病院の理念

地域の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し社会に貢献します。

病院の方針

1. 患者さんの人格、権利、プライバシーを尊重し、患者さんの立場に立ったチーム医療を行います。
2. 患者さんのために医学的根拠にもとづいた医療を実践します。
3. 安全・高度・安心な医療を医科及び歯科が連携して行います。
4. 救急医療の充実に努めます。
5. 予防医学の推進により生活習慣病の予防に努めます。
6. 十分なインフォームドコンセントのうえ、医療を実践します。
7. 全人的な医療を行うため、全職員の力を結集します。
8. 地域における医療連携を推進します。
9. 病院内外の医療関係者・従事者などに対して教育・研修の場を提供します。
10. 健全な経営体質の維持をはかります。
11. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。

患者さんの権利

私たちは、当院を受診される皆様が以下の権利を有することを確認し、尊重します。

1. 人としての尊厳をもって医療を受けること。
2. 安全で質の高い医療を受けること。
3. 十分な説明と情報を得たうえで、自らの意思で医療を受けること。
4. プライバシーと個人情報が保護されること。
5. セカンドオピニオンを求めること。
6. 研究や教育への協力を自らの意思で決定すること。

ジェネリック医薬品への変更之际して

薬局長 山添 喜久雄

当院では、2013年11月から「ジェネリック医薬品」の順次導入を開始し、皆様方にはすでに一部のお薬について「ジェネリック医薬品」をお使いいただいております。そこで、今回は皆様方に「ジェネリック医薬品」についてお話をさせていただきます。

医薬品には、皆様方が一般の薬局・薬店などで自由にお求めいただける「一般用医薬品」と、医療機関で診療を受けたときに医師から処方される「医療用医薬品」があります。医師により処方される「医療用医薬品」は、さらに「先発医薬品」と「ジェネリック医薬品」とに分けられ、「ジェネリック医薬品」は「後発医薬品」とも呼ばれています。

「先発医薬品」には医薬品メーカーが独占的に製造・販売できる特許期間等があります。この特許期間等が終わると他の医薬品メーカーでも厚生労働大臣の承認（審査）を得て製造・販売できるようになります。この特許等の期間満了後に「先発医薬品」と同じ有効成分の医薬品として販売されるものが「ジェネリック医薬品」です。医薬品メーカーが「先発医薬品」を開発するには、9~17年程度の長い期間と数百億円もの投資が必要といわれていますが、「ジェネリック医薬品」は「先発医薬品」と比べて短い期間と少ない投資で開発することができるため、お薬の価格である薬価は3~5割以上低く設定されています。

このように「ジェネリック医薬品」は、すでに効果や安全性が評価されている「先発医薬品」と同等であることが確認されており、皆様方の医療費軽減が期待される医薬品であります。

なお、当院で取り扱っております医薬品に対して、「先発医薬品」などへの変更の要望がございましたら、診察時に医師にお申し出ください。

（厚生労働省のホームページに「ジェネリック医薬品」に関する各種の説明がございますので、ご利用いただける方はご参照ください。）

保健医療学部 看護学科開設

事務部長 臼井 認

2014年4月に保健医療学部看護学科を開設しました。

保健医療学部は、保健衛生学の専門知識、高度な医療技術及び豊かな学識と技能を教授研究し、社会に貢献できる人材の育成を目的とし、新たに設置の運びとなりました。

本学の歯学部、経営学部、法学部に次いで保健医療学部が開設され、定員80名の看護師を目指す学生さんが、4月2日桜満開の本学の門をくぐり、決意を新たに国家試験合格を目指して4年間学業に励むこととなります。

開設までの準備期間も短く、不安もある中での開設に向けた試行錯誤の業務となりましたが、関係各位の努力と熱意により開設にこぎつけることができました。

特に学科長に就任し学部増の中心的な立場である濱畑章子教授は、教員採用、実習病院・施設の開拓に獅子奮迅、奔走し、ワーキングのメンバーも献身的にサポートし設置許可に至りました。また、実習病院・施設としてご協力いただきました関係の皆様方には、あらためましてお礼申し上げます次第であります。

4年後に看護師資格を取得した看護師さんが、関連病院や地域病院で生き活きと働く姿を思い浮かべながら看護学科のこれからの発展を楽しみにしております。



日本消化器外科学会 専門医修練施設の認定

食道がん、胃がん、大腸がんなどの消化管悪性腫瘍や、肝胆脾臓領域の高難度手術に特化した専門医を養成するため、幅広い知識と技術を修練することができる専門教育施設として認定されています。



日本甲状腺学会 認定専門医施設の認定

甲状腺はバセドウ病、橋本病に代表される機能異常疾患や腫瘍、甲状腺炎など多彩な疾患があり、比較的罹患頻度の高い領域でもあります。今後も専門医が適切な診断治療を心がけてまいります。



日本消化器がん検診学会の 認定指導施設の認定

人間ドックや企業検診など、地域並びに施設がん検診において、指導医の責任のもとに十分な指導体制がとられている施設として認定されました。当院総合健診センターは、今後も皆様のご健康の大切な財産である健康について皆様とともに考え、より良い健康管理のお手伝いをさせていただきます。



日本消化器病学会の 認定施設の認定

消化器疾患全般にわたり、適正な医療を実践し、消化器治療における先進的高度医療に通じ、病診、病病などの診療連携を遂行できる施設として認定されました。

西館新築・既存建物改修工事が完了

2013年12月に長年にわたって行ってきました工事が完了しました。

今回の工事は①病床数を358床から400床に増床する。②人間ドックの受診者増に対応するために施設を拡充する。③入院・外来の療養環境の整備を行う。ことを主な目的として長期に及ぶ建設計画の検討の末、2010年12月に当時病院東側に隣接していた旧ガソリンスタンド及び自動車学校の建物を解体する工事に本格的にスタートしました。

2011年2月に東側駐車場(病院第1駐車場)が完成、利用を開始するとともに、引き続き西側駐車場を閉鎖し西館建設に着工の運びとなりました。また、同時に病院正面玄関の改修工事にもとりかかり、2012年3月に正面玄関が完成し、4月には岐阜県内で

1号店となるホスピタルローソンを開業し、同時にカフェ・サルデーテ(サルデーテとはイタリア語で「健康」を意味します。)が営業を開始しました。

新築工事は途中、スケジュールに遅れを見せながらも2012年4月に完了し、4月27日に竣工式を挙行し、多数のお客様を招いて内覧会を開催した後、総合健診センターが本格的に移転・拡充し、5月から検診を開始しました。

また、その後、地下に最新式の放射線治療器(リニアック)を設置、関係省庁の検査等を受け、10月に治療を開始し、本館の回復期リハビリテーション病棟を4階に移設し本格稼働となりました。

工事は、本館及び東館の改修に移行し、本館3階を皮切りに病棟



ガソリンスタンド解体



第1駐車場



西館新築工事

朝日大学歯学部附属村上記念病院 西館新築



西館竣工式



ホスピタルローソン



西館(2階受付)

新任紹介



脳神経外科 助教
坂井 聡太郎
(さかい そうたろう)
(2013年10月1日赴任)



歯科口腔外科 講師
足立 誠
(あだち まこと)
(2013年10月1日赴任)



消化器内科 教授
八木 信明
(やぎ のぶあき)
(2014年4月1日赴任)



呼吸器内科 准教授
舟口 祝彦
(ふなぐち のりひこ)
(2014年4月1日赴任)



歯科口腔外科 講師
大橋 静江
(おおはし しずえ)
(2014年4月1日赴任)

工事の経過を振り返り

管理課 加藤 祐司

のリニューアル工事を順次進め、一方、東館7階の工事から、こちら
も順次外来診療室の移転、整備を進めていきました。

外来については、2012年11月に乳腺外科及び婦人科を東館
7階に移設し、新たに「女性外来」として新設、その後2013年2月
には歯科・口腔外科を移転・拡充、その跡地を利用して消化器内科
診療室の移転を含めた改修工事を2013年6月に完了しました。

工事は最終段階に向かい、ついに、本館6階及び7階北病棟と
内視鏡センターの整備を行い2013年12月に完了となりました。

工事中、患者さんをはじめとした利用者の皆様には騒音、度重
なる引越等で大変ご迷惑をおかけしました。

また、今回の工事において設計・監理を担当した(株)日本設計、

大日本土木(株)の2社様には多大なご尽力をいただいたことを
紙面をお借りして深謝申し上げます。

今回、可能な限りの環境整備を行いました。今後も引き続き
より良い環境を提供できるよう職員一同努力して参ります。

最後に、今回の長きにわたった工事の完了を記念して、2014年
1月31日にプロゴルファーの森口祐子氏を講師に招き「ゴルフと
私」という演題でご講演を賜りました。

「プロ」としての心構え、気遣い、自己鍛錬等大変刺激や励みに
なる講演をいただき、建物といったハードのみでなく、ハートの
こもった医療サービスの提供に心を新たにしました。



放射線治療器(リニアック)



乳腺外科



歯科・口腔外科



化学療法室



プロゴルファー 森口祐子氏
記念講演

新任紹介



消化器内科 助教
木村 礼子
(きむら れいこ)
(2014年4月1日赴任)



消化器内科 助教
北江 博晃
(きたえ ひろあき)
(2014年4月1日赴任)



糖尿病内分泌内科 助教
北江 彩
(きたえ あや)
(2014年4月1日赴任)



脳神経外科 助教
武井 啓晃
(たけい ひろあき)
(2014年4月1日赴任)



防災訓練の実施

管理課 古泉 尚

今年度2回目の訓練を、2014年1月22日(水)14時から、震度6強の地震が発生、本館5階から出火したと想定して行いました。

今回の訓練は、2013年11月、福岡県博多市の医療機関で発生した火災事故をふまえ、通報連絡、初期消火及び避難誘導等、基本的な行動について迅速かつ確に実施することを主眼としました。岐阜中消防署員の指導のもと、職員、患者さん合わせて107名が参加して訓練を実施し、訓練に対する講評には全職員が真剣に耳を傾けていました。また、新人職員を対象として消火器の取り扱いについて実地訓練も実施しました。

福岡県の医療機関で発生した火災事故でもわかるように、病院内で起こる災害は一般の施設と違い、入院患者さん等、直ぐに避難ができない方が多い施設で起こるものであり、また、災害が発生した時間帯により避難誘導に携わる職員が変動します。当院ではこのような観点から、どのような場面においてもみなさんを迅速に、安全に、そして着実に避難誘導できるよう、日頃から職員が自分の役割を認識し、消火器・火災報知器の設置場所の把握、避難経路の確認を心がけます。今後の防災訓練では、昼間、夜間、大規模災害等、さまざまな場面を想定し防災訓練を行っていきたいと考えています。



心を癒す院内コンサート

ボランティア支援室 野村 美由紀

当院1階待合ホールにおいて、サマーコンサートが開催され、入院患者さんら約250名の聴衆でいっぱいになり弦楽器の奏でる美しい音色に聴き入りました。

今回のコンサートでは、岐阜を拠点に活動する市民楽団「岐阜チェンバーアンサンブル」が、ヴァイオリンやチェロなど4種類の弦楽器を演奏。「メヌエット」「カノン」「G線上のアリア」など10曲を披露し、最後には「川の流れるように」を全員で合唱して楽しいひとときを過ごしました。ヴァイオリン演奏者の中には朝日大学歯学部が所属しており、同楽団の活動に貢献しています。

院内コンサートは、地域貢献の一環として、病院生活でふさがちになる入院患者さんの心を少しでも癒すことができたらと思いついて毎年行われています。



入院患者さんにひざ掛けを

医事一課 浅野 一男

当院では、冬の寒さを迎える時期になると入院患者さんへクリスマスプレゼントを贈っています。

毎年行っているこのイベントも今回で7回目となりました。本院とかかわりのある森プリント(株)の森典義社長や地元繊維会社の協力を得て寄付を受けた「ひざ掛け」をお渡ししています。

当日は、当院の非常勤講師で、いちだクリニック院長の市田正成先生や同クリニックのスタッフの方々にも協力していただき、サンタクロース姿に扮して病室を訪問。「早くよくなってください」と声をかけてひざ掛けを渡すと、患者さんは「入院中は感じづらい四季の移り変わりを感じました、ありがとうございます」と思いがけぬプレゼントに顔をほころばせていました。



病院ボランティア「集いの会」を開催

ボランティア支援室長 数下 勉

毎年開催している病院ボランティアのみなさんと病院職員との交流会「集いの会」が2013年11月28日、ホテルソラにおいて開催されました。病院ボランティア「宙(そら)」、日本赤十字奉仕団徹明分団、音楽ボランティア、絵手紙ボランティア、写真ボランティア等、病院職員を含めて51名の参加があり親睦を深めることができました。

今回の「集いの会」においても、ボランティア活動における現状での問題点、ご提言をいただく等活発な意見交換が行われました。大橋病院長からは、病院改修工事も完了間近となり、多大なるご協力をいただいたことに対し、病院ボランティアのみなさんへ謝辞がありました。

岐阜市社会福祉協議会事業推進室長 村山様からボランティアの意義についてお話がある等、種々のイベントを交えながら「集いの会」を閉会しました。

当院では病院ボランティアを募集しております。ご協力くださる方がいらっしゃいましたら病院職員にお声をかけてください。



シリーズ
健診センター
便り⑥

総合健診センター副センター長
出口 富美子

2012年5月に西館に移設し、はや2年が過ぎようとしております。ご不便をおかけしていたロッカーや更衣室については早速改善させていただきました。最新の検査機器を増やし、診察・面談を4診としたことにより、半日コースは結果説明も含め、午前中にほぼ終了できるようになりました。2012年の人間ドック受診者は12,191人(男女比は3対2)、経年受診は87%で、多くの方に繰り返しご利用いただいております。総合判定で“正常”はわずか4%ほどで、50%は要経過観察、28%は要精査治療と判定されます。生活習慣病に関しては脂質異常が39%と高頻度であり、肝機能障害が24%、高血圧21%、血糖異常18%でした。追跡が可能であった55%の受診者から確認された癌は47例で、その内訳は胃癌15(早期11、進行2、不明2)、大腸癌6(早期2、進行2、不明2)、腎臓癌6、前立腺癌5、乳癌4、食道癌3、肺癌2、子宮癌2、膵臓癌2、肝臓癌と卵巣癌が各1でした。健診センターでは、基本の人間ドックコースのほか、豊富なオプションも用意し、皆様のご利用をお待ちしております。

オプション検査件数

上部消化管内視鏡検査 (経鼻内視鏡)	1,692 (521)
乳癌検診	2,885
子宮癌検診	2,296
頭部MRI検査	609
胸部CT検査	179
腹部CT検査	106
骨塩定量	620
喀痰細胞診検査	300
動脈硬化検査	311
腫瘍マーカー検査	4,438

メタボリックシンドローム

男性	12.3%
女性	1.4%
全体	8.0%

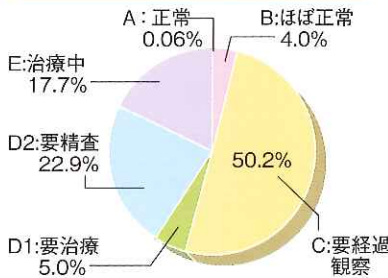
生活習慣病

脂質異常	39%
高血圧	21%
肝機能障害	24%
血糖異常	18%

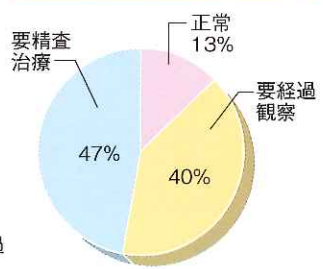
要精査指示率

上部消化管X線検査	6.9%
便潜血検査	3.8%
腹部超音波検査	3.9%
眼底検査	1.5%
胸部X線検査	0.6%
心電図検査	0.7%

総合判定



口腔検診



シリーズ医食同源 NO.14
腸内環境整え食

管理栄養士 高橋 貞子

腸内環境を整えることは、免疫力良好に直結します。食物繊維や発酵食品などによって、腸内環境を良くしましょう。便秘知らずで体スッキリにより、免疫良好になります。体スッキリメニューを紹介します。

ひじきごはん

(370kcal)

材料 1人分

米	1/2カップ
ひじき	1g
油揚げ	10g
人参	10g
まいたけ	20g
さやえんどう	5g
油	少々
△調味料	<ul style="list-style-type: none"> そばつゆ 7g 酒、みりん 4g 水 50g

作り方

- 1 米ひじきは水でもどす。
- 2 油揚げ、人参は細切りにする。
- 3 材料を油で炒め、調味料、水を入れる。
- 4 汁気がなくなるまで煮る。
- 5 白米を炊く時と同じ分量の水を入れ、具を入れて炊く。

豆のヨーグルトサラダ

(30kcal)

材料 1人分

水煮の豆 (大豆、ひよこ豆、いんげん豆)	50g
ホールコーン	15g
サラダ菜、ミニトマト	15g

△調味料	<ul style="list-style-type: none"> ヨーグルト 20g マヨネーズ 5g 粒マスタード 5g 塩、こしょう 少々
------	---

作り方

- 1 豆、コーンを調味料で合える。
- 2 サラダ菜の上に盛り付ける。



さばのおろし煮

(200kcal)

材料 1人分

さば	1切	大根	50g
酒	3g	あさつき	1g
小麦粉	7g	しょうが	適量
油	10g		

△調味料	<ul style="list-style-type: none"> だし汁 30g みりん 3g しょうゆ 6g
------	--

材料 1人分

- 1 さばは小麦粉をまぶし、油で焼く。
- 2 大根をおろし、おろししょうがを合わせる。
- 3 調味料を煮立てさばを入れる。
- 4 盛り付ける。



診療医ご案内



(2014年4月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	八木	大洞	久保田 (非常勤)	加藤(隆)	八木島
	予約診	小島	大洞	小島	加藤(隆)	北江(博)	加藤(隆)
	予約診	八木	大島	木村	—	福田	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		八巻	大野 (腎臓内科)	八巻	渡辺 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	泉	—	大橋
糖尿病・内分泌内科		猿井 井瀬	武田 瀨	武田 佐々木・北江	猿井 佐々木・北江	猿井 武田	武田 佐々木
呼吸器内科		中島	舟口	舟口	中島	舟口	中島
外科		久米	桐野	久米	中嶋	川部	担当医
		高橋	川部	桐野	—	中嶋	—
乳腺外科	1診	川口	細野	川口	細野	川口 (第2・4週目)	細野 (第1・3・5週目)
	2診	細野	川口	細野	川口	細野	川口 (第2・4週目)
脳神経外科		山下	郭	山下	坂井	担当医	郭
		坂井	宮居	武井	宮居	—	武井
整形外科	初診	日下・河合	青芝・山賀	塚田	後藤	前田	担当医
	予約診	—	—	前田	河合	大友	—
	予約診	—	今泉	日下	山賀	日下	今泉 (第1・3週目)
	予約診	後藤	塚田	青芝	塚原	今泉	塚原 (第2週目)
眼科	1診	杉本 (非常勤)	杉本 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	(予約制)	(予約制)	藤本	藤本	—
放射線治療科		—	田中 (非常勤)	—	大宝 (非常勤)	—	—
歯科・口腔外科	初診	村松・本橋 大橋	足立・樽沼 大橋	中島・村松 関根	齋藤・樽沼 大橋	本橋・村松 大橋	足立・樽沼 村松

【ご案内】 ●診療受付時間は、全科8:00~11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。

【予約診療について】(一部の診療科を除き、初診の予約診療は行っていません) 予約・予約変更連絡先 予約変更受付時間(曜日)

- 内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科 (058)253-8001(代表) 13:00~15:00(月~金曜日)
- 糖尿病・内分泌内科 (058)253-8001(代表) 13:00~15:00(月~金曜日)
- 外科 (058)253-8001(代表) 13:00~15:00(月~金曜日)
- 脳神経外科 (058)253-9921 9:00~16:00(月~金曜日)
- 整形外科(再診は予約制です。) (058)252-5223 13:00~16:00(月~金曜日)
- 眼科 (058)253-8001(代表) 13:00~15:00(月~金曜日)
- 泌尿器科 (058)253-8001(代表) 13:00~15:00(月~金曜日)
- 乳腺外科(初診・再診とも予約をおとりください。) (058)253-8001(代表) 14:00~16:00(月~金曜日)
- 婦人科(初診・再診とも予約をおとりください。) (058)253-8001(代表) 14:00~16:00(月~金曜日)
- 歯科・口腔外科 (058)252-6947 8:30~16:30(月~金曜日)
8:30~12:00 (土曜日)

朝日大学 村上記念病院 [病院機能評価認定病院] [人間ドック・健診機能評価施設]

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL:058-253-8001(代) FAX:058-253-5165(総合受付)
ホームページアドレス <http://www.murakami.asahi-u.ac.jp>